

Narukyo-Kawaraban

# 鳴教かわら版 No.11



## 学章・学歌特集号

鳴門教育大学のシンボルである学章・学歌について、触れてみませんか

鳴門教育大学学歌

原作 浮橋康彦  
補作 学歌制定選考委員会  
作曲 松岡貞史

♩=92

1. わ

たおな つきみ みのこに なうと みー はまき かれみ がしち やまれ きはば うかお

ねよの りいが くのうし ししす おはへ たかた かりだ るぬつ わくみ

かたに こつ まほーのし はちえ てがき ゆつち がら にいと ませ

f

いなの へあう ののの いのみ はみり たかた かかきく うろう

いらいり りみうーそめきわてい すん 2. とは 3. ま



鳴門教育大学と瀬戸内海国立公園

学歌は、公式ウェブページ (<http://www.naruto-u.ac.jp/information/02/003.html>) 及び YouTube で聴くことができます。



## 鳴門教育大学学章

制定：1986（昭和61）年 2月

協力：江藤 隆介 鳴門教育大学名誉教授  
 村上 正典 同上  
 西田 威汎 同上



学章をあしらった記章  
 大学会館で購入可能（税込 200 円）

1981(昭和56)年 鳴門教育大学 創設  
 1984(昭和59)年 大学院学校教育研究科 1期生入学  
 1985(昭和60)年 学章のデザインを学内（教職員・学生）に公募  
 （応募作品39点の中に入選作品無し）  
 1986(昭和61)年 江藤徳島大学教授ら（当時）に協力いただき，制定  
 学校教育学部 1期生入学  
 2008(平成20)年 「鳴門教育大学学章等に関する要項」を制定  
 （学章・学称ロゴデザイン，基準色等を定める）

## 鳴門教育大学学歌

制定：1994（平成6）年 2月

原作：浮橋 康彦 元鳴門教育大学教授  
 補作：学歌制定選考委員会  
 作曲：松岡 貴史 鳴門教育大学名誉教授  
 1993(平成5)年 学歌（歌詞）を学内に公募  
 浮橋教授（当時）の歌詞を採用  
 1994(平成6)年 松岡助教授（当時）が作曲し，制定

一 わたつみの <sup>なみ</sup>波は <sup>か</sup>かがやき  
 うねり来る <sup>うしお たかな</sup>潮 高鳴る  
 若駒の <sup>わかこま</sup>馳せて <sup>は</sup>ゆくがに  
 真理への <sup>まこと</sup>意気は <sup>いき たか</sup>高らか  
 教育の <sup>きょういく</sup>理想を <sup>りそう めざ</sup>目指す

二 <sup>とお よ</sup>遠き代に <sup>う</sup>生まれし <sup>しま</sup>島よ  
<sup>かよ あ</sup>通い合う <sup>はし か</sup>橋は 架かりぬ  
<sup>くにくに</sup>国々より <sup>とも つど</sup>友がき 集い  
<sup>まな あ</sup>学び合う <sup>のぞ</sup>望み <sup>かがやき</sup>かがやき  
 教育の <sup>きょういく</sup>道を <sup>みち きわ</sup>究めん

三 <sup>まなびや</sup>学舎に <sup>とき み</sup>時 満ちくれば  
<sup>あす たびだ</sup>おのがじし <sup>あす</sup>明日へ <sup>たびだ</sup>旅立つ  
<sup>み</sup>身につけし <sup>ち え ちから</sup>知恵と力と  
<sup>そうぞう</sup>創造の <sup>み のり ゆた</sup>みのり 豊けく  
 教育の <sup>きょういく</sup>ふるさと <sup>こ</sup>こは

### （歌詞解説）

新構想大学である鳴門教育大学の創設の趣旨・目的に相応しく，理想の教育を目指す学生の姿を格調ある古文調を用いて表現しています。

鳴門の景観や歴史的・社会的背景，巧みな修辞技法や雅語が織り交ぜられ，和歌や詩で用いられるなじみの深い五七調にまとめられています。

#### 一 入学時の学生の希望と意欲に満ちた様子

豪快な鳴門海峡の描写と続く若い馬のたとえから，入学する学生の躍動感と希望に満ちた心境を表現しています。

海を「わたつみ」とすることで，2番の歌詞の「遠き代」との関連を持たせています。

「うねりくる潮」は，鳴門海峡の渦潮を想起させます。

わたつみ・・・わた（海（の古語）の神，海そのものを指す）  
 （ゆく）がに・・・（行く）かのように

#### 二 在学中の切磋琢磨し学修する様子

古事記（712年）の国生みの神話と，現代の1985（昭和60）年の大鳴門橋開通（淡路島～鳴門）を挙げて悠久の歴史ある土地柄を示しながら，今後の発展に期待を寄せつつ，学生間の精神的な交流を描いています。

全国から学生が集まり，互いに切磋琢磨し，教育者としての道を究めようと学ぶ様子を表現しています。

遠き代に生まれし島よ・・・古事記の「国生み」で，最初に淡路島，2番目に四国が誕生友がき（友垣）・・・友達，友人。垣根にたとえて，友との固い交わりを表す

#### 三 卒業・修了時のそれぞれの人生に進む様子

学びを重ねて，いよいよ旅立ちを迎える，その「時」に「満ち」と「みのり」を用いて，教員に求められる資質・能力を豊かに身につけて，それぞれの教育の理想を体現するため，教師として人生の緒につく様子を表現しています。

「教育のふるさとここは」と結ぶことで，旅立つ決意との対比で，大学が教育者としての原点であり，この地・この大学を心の拠り所とし懐かしむ様子が強調されています。

おのがじし（己がじし）・・・各自，それぞれに  
 豊けく・・・形容詞「豊けし（満ち足りた様子）」の連用形



## 学章の3つの意味

- (1) 上部はNarutoのNを、  
下部はUniversityのUを表現
- (2) 上部は鳴門の島々を、  
下部は動的な海を表現
- (3) 3つに分かれた各部分が教職員、学部生、院生を  
意味し、一体となっている様を表現



式典で掲揚される学旗



## 学章の基準色等

- ・ 上部のNの部分は「緑色 (Y80% + C80%)」、下部のUの部分は「青色 (M60% + C100%)」を色彩表現の基準色としている。(プロセスカラー(4色)の場合)
- ・ 恵まれた自然環境等からイメージし、緑色を上部のNから Nature Green, 青色を下部のUから Utopia Blue と名付けている。
- ・ 基準色を優先的に使用するが、用途に応じて、色の変更や単色、白抜きでの表現を可能としている。

### 作曲者メッセージ

#### 松岡 貴史 名誉教授



教育とは、一人ひとりの違いを認めて、一人ひとりを活かすという人間愛に根ざしたものであってほしいと願っています。ですから、これが教育だと力強く宣言するというよりは、教育の深まりがしみじみと感じられるような学歌をと思い、作曲しました。

歌詞の各4行目が特に好きです。真理の追究や創造という行為の素晴らしさと同時に大変さや痛みを表現したく、曲が徐々に高揚していくなかで、4行目前半(真理への／学び合う／創造の)だけ、短調にしています。この後、長調に戻り、クライマックスを迎え、歓喜を表現しています。5行目(教育の)は、深まりを表現すべく、和音や音域を設定しています。しみじみとした味わいを感じていただければ幸いです。

子どもたち一人ひとりと向き合える人間愛に溢れた教育者<sup>あふ</sup>になって欲しいという期待を曲に込めています。

### 学歌を歌う会 代表 メッセージ

#### 木原 資裕 教授



私の知る範囲では全国的な有名大学には、それぞれ歌い継がれる歌を持っています。大学歌もあれば、学生歌・寮歌・応援歌など様々ですが、在校生・卒業生が、これらを歌うことを伝統とし、誇りを持っているように感じます。

鳴教大にも平成6年2月に学歌が制定されていますが、これまで学歌を歌うことを伝統としようという機運がありませんでした。そこで、3年前に学歌を歌う会を立ち上げた次第です。

歌には人を元気にする力があります。腹から大きな声で学歌を歌うことは、小さな自分の恥ずかしさを取り除き、堂々と生徒の前で指導ができる教師になるために必要な訓練でもあります。さらには、愛校心・鳴教マインドの育成につながるものと確信しております。

学歌を卒業式・同窓会・各クラブでの集まりで、大きな声で歌える伝統をともどもに作っていきましょう！！

歌詞解説の作成にあたり、院生の諸見里牧乃さん、村井万里子教授、阪根健二教授に御協力をいただきました。

庭園

竣工：1988（昭和63）年 3月

図書館の西に位置する庭園は、憩いの場であり、映画のロケにも使用されたことがあります。

大学の周囲の地形を模しており、大学がある場所（下図⑦）には、学章の形をしたベンチがあり、ベンチ中央には「やまもも（徳島県の県の木）」が植えられています。

他にも、開学10周年記念植樹の「ソテツ（㊦）」や、20周年記念植樹の「ハマボウ（㊩、鳴門市の市の花）」が植樹されています。

堀越（㊨）は、製塩用の薪などを運搬するため、慶長年間（1596～1614年）に島田島と大毛島の間を開削した運河です。塩田は1970年頃まで続きました。

本学は、地元の期待を担い、高島の広大な塩田跡地に建設されました。



ほりこしはし  
②堀越橋をイメージした欄干



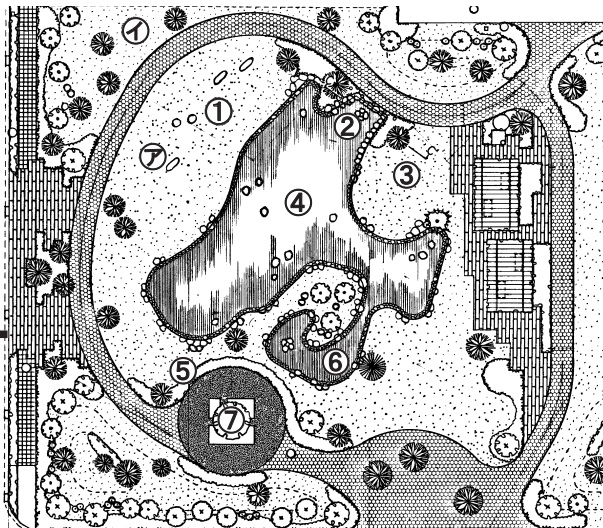
②堀越橋（1971（昭和46）年 架橋）



1989（平成元）年6月 撮影

庭園略図

- ①島田島
- ②堀越
- ③大毛島
- ④ウチノ海
- ⑤高島
- ⑥スクノ海
- ⑦鳴教大
- ㊦ソテツ
- ㊩ハマボウ



地理院地図

出典：国土地理院タイルに番号を記載して掲載  
 (https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html)  
 「データソース：Landsat8画像 (GSI, TSIC, GEO Grid/AIST),  
 Landsat8画像 (courtesy of the U.S. Geological Survey),  
 海底地形 (GEBCO)」



㊦鳴門教育大学  
 （学章を模したベンチ）

学章や学歌に込められた意味を知ると、デザイン、歌詞やメロディが、より彩り豊かになったのではないのでしょうか。皆さんには、本学を卒業・修了した後、赴任する学校の校歌を率先して歌える教師になって欲しいと願っています。

鳴教かわら版 (No.11) 2019年1月発行  
 鳴門教育大学経営企画部  
 〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地  
 電話：088-687-6000 FAX：088-687-6040  
 URL：http://www.naruto-u.ac.jp/

YouTube 鳴門教育大学【公式】

国立大学法人  
**鳴門教育大学**  
 Naruto University of Education